

マスタデータの GAP 分析

1. 本ガイドの趣旨

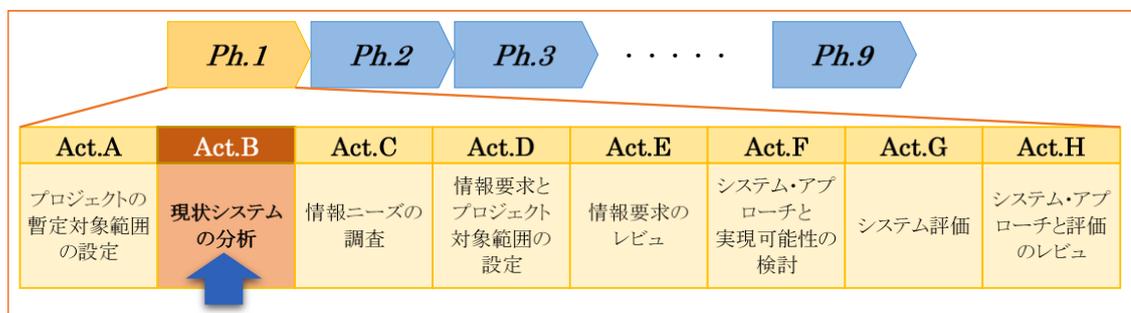
厳しい経営環境の中、事業拡大や再構築を目的として、M&A が行われるケースが多い。この M&A による経営統合によって課題となるのは「システム統合」である。「システム統合」を行うためには、既存システムの内容を把握し、違いを明らかにする必要があるが、システムのブラックボックス化により容易ではない。

本ガイドでは、システムの構成要素であるデータ(マスタデータ)を対象に、GAP 分析方法を紹介する。

2. 本ガイドの位置付け

本ガイドは、システム統合等により、マスタデータの内容把握・GAP 分析が必要なケースでの利用を想定している。

また、利用する局面は、弊社情報システム開発方法論のフェーズ1 アクティビティ B(現状システム分析)において実施するもので、弊社情報システム開発方法論を補完する位置付けである。



2016年9月
株式会社プライド
稲葉 洋明
秦 貴志

参考：目次構成

I	はじめに
II	マスタデータ GAP 分析の基本的な考え方
1.	システム統合における本レポートの位置付け
2.	マスタデータの GAP 分析で直面する課題と対応策
1)	概念データモデルが整備されていない
2)	設計ドキュメントの体系が複雑で、必要な情報が特定できない
3)	テーブルが大量にありマスタデータの識別が困難である
4)	比較対象のマスタデータの対応付けが難しい
3.	その他考慮した事項
4.	最終的な GAP 分析結果のイメージ
5.	弊社情報システム開発方法論のフェーズ（工程）との対応関係
III	マスタデータの GAP 分析手順
1.	Task01. 分析対象範囲の決定
2.	Task02. 設計ドキュメントの収集と精査
3.	Task03. ALDM、ELDM の作成
4.	Task04. CRUD の作成
5.	Task05. GAP 分析
IV	おわりに
V	参考資料

以上